

第7章 文化・芸術

第1節 市民文化活動の推進

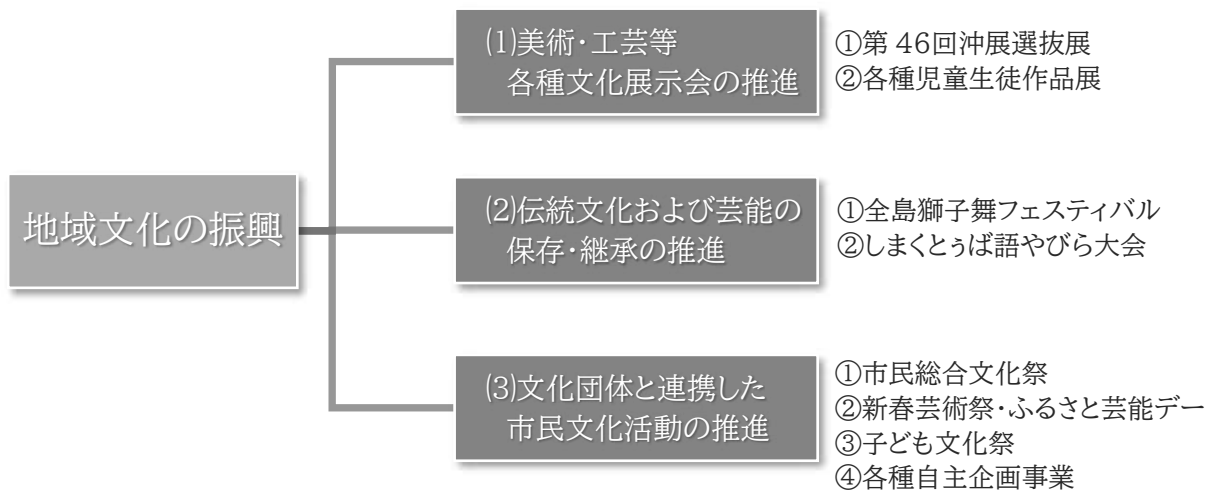
第2節 文化施設・設備の有効利用

第1節 市民文化活動の推進

地域文化の振興

文化活動は、市民がそれを通して個性を伸ばし、創造性を培い、自己の向上を図ろうとする自発的営みである。これらの活動は日常生活に根ざしたものであり、地域文化と深い関連がある。

豊かな市民文化活動の推進及び伝統文化及び芸能の保存・継承のため、各種展示会や文化祭等を開催し、市民が質の高い多様な美術・工芸等に触れて楽しむことができる機会を提供するとともに、文化活動への積極的な市民参加を奨励する。また、うるま市文化協会等の市民文化団体の活動を支援し、地域文化の振興に努める。



志の輔らくご in うるま市民芸術劇場
2023年4月2日(日) 14時開演(開場13時)
出演: 立川志の輔 うちなー噺家志いさー よなは徹
会場:うるま市民芸術劇場 燈ホール

自主企画事業 志の輔らくご in うるま市民芸術劇場

第2節 文化施設・設備の有効利用

芸術振興の概要

うるま市民芸術劇場は、旧具志川市の市制25周年記念事業として平成6年に建設されました。

劇場にはクラシック音楽の公演を主目的に演劇や各種のコンサートにも対応できる設備と機能を備えた「響ホール」(821席)と小規模ながら音響、照明、舞台機構が充実した「燈ホール」(357席)があります。また、この2つの舞台のアクティブエリアに対応する広さを備えた「リハーサル室」は舞台関係者の日常の稽古場として活動され、芸術活動を側面から支えています。

うるま市石川会館は、戦後の政治・経済・教育・文化の発祥地として知られる石川地域で、これまで古典音楽や民謡、琉舞等の愛好家が多く、発表会や文化活動の拠点づくりとして建設され、平成元年4月にこけら落としが行われています。地上3階建て客席数973席の大ホール、1階に楽屋(兼和室会議室)、2階には主催者控え室やリハーサル室が配置され、地域住民の芸術文化活動の拠点として活用されています。

うるま市きむたかホールは、平成13年5月にオープンし、シビックセンター(社会教育施設)、交流広場(交流機能)、きむたかホール(文化施設)の3施設の複合施設(きむたか交流プラザ)として建設されました。同ホールは地域住民の活動や青少年育成等の拠点作りを目的とし、地上2階、地下2階、客席数516席(可動席200席)、リハーサル室、ラウンジ、ギャラリーがあり、舞台機構が6パターンに展開できる機能を有し、地域住民の芸術文化活動や人材育成の拠点づくりとして活用されています。

1. うるま市民芸術劇場

① 施設概要

名称	うるま市民芸術劇場
所在地	うるま市字仲嶺175番地
工期	平成5年3月～平成6年9月
敷地面積	27,405.50㎡
建築面積	5,016㎡
延床面積	6,551㎡
構造	鉄筋コンクリート造、 地下1階 地上2階
事業総額	約59億7千万円
駐車台数	約375台

② 劇場概要

	響ホール*音楽主体	燈ホール*演劇主体
客席	固定席821席 車いす席3席 親子席6席	固定席357席 車いす席2席
舞台	間口18m 奥行13.2m 高さ10.5m	間口12.6m 奥行9.7m 高さ6.3m
楽屋	4室 大楽屋1室、中楽屋2室、小楽屋1室	4室 大楽屋1室、中楽屋2室、小楽屋1室
リハーサル室	154㎡	



Uruma Citizen Art Theater

2. うるま市石川会館



Uruma Ishikawa Hall

①施設概要

名 称	うるま市石川会館
所 在 地	うるま市石川石崎一丁目1番
工 期	昭和62年10月～平成元年1月
敷地面積	19,086 m ²
建築面積	2,352 m ²
延床面積	3,858 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造(屋根部分鉄骨) 地下3階
事業総額	13億2671万1千円
駐車台数	約250台(石川庁舎と共同)

②施設概要

	うるま市石川会館
客 席	固定席 973 席(内、車いす席 3 席)
舞 台	間口 16m、奥行 15m スノコまでの高さ 20m
楽 屋	①主催者控え室 ②和室会議室 ③会議室
舞台構造	反響版
リハーサル室	90 m ²

3. うるま市きむたかホール



Uruma Kimutaka Hall



①施設概要

名 称	うるま市きむたかホール
所 在 地	うるま市勝連平安名 3071 番地
工 期	平成 11 年 6 月～平成 13 年 3 月
敷地面積	13,685 m ² きむたか交流プラザ (シビックセンター、交流広場、 きむたかホールの合計)
延床面積	5,603 m ²
構 造	RC 造一部 S 造 地上 2 階 地下 2 階 塔屋 1 階
事業総額	約 19 億 9161 万円 5 千円
駐車台数	約 162 台 (大型 3 台、普通車 159 台)

②施設概要

	うるま市きむたかホール
客 席	固定席 303 席、可動席 200 席、 身障者席 5 席、親子席 8 席
舞 台	間口 15m 奥行 12m 高さ 7.1m *客席機構 バターン 1～バターン 6
楽 屋	楽屋 1 楽屋 2 楽屋 3
その他	リハーサル室とラウンジのパーテ ーションあり

4. 利用の申し込み等

(1) 申込受付期間

- * 市民芸術劇場は使用期間の 6 カ月前(舞台芸術活動)及び 4 カ月前(その他)の同月 1 日から。
- * 石川会館、きむたかホールは使用期日の 6 カ月前の同月 1 日から。

(2) 受付時間と受付方法

- * 午前 9 時から午後 5 時 15 分まで (月曜日から金曜日まで)
- * 申請は直接ご来館ください。

(3) 使用料の納付

- * 施設使用料は使用前、設備使用料は使用后、指定期日までに銀行などで納付してください。
- * 指定期日までに納付されない場合は、申し込みが無効になりますのでお気をつけください。
- * 納入済みの使用料は原則としてお返しできません。

(4) 使用時間

- * 使用時間は午前 9 時から午後 10 時までです。
- なお、この時間には催し物の準備や後片付け等に要する全ての時間が含まれます。

(5) 変更・取り消し

- * 使用日・使用施設等の変更や取り消しが生じた場合は、速やかに各施設へ届け出てください。

(6) 休館日

- * 月曜日と火曜日 (市民芸術劇場)、火曜日 (石川会館、きむたかホール)
- * 年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)



運営の重点事項

1 地域文化の創造と市民参加

4 自主企画事業の実施

2 芸能文化団体の活動促進

5 芸術ホールとしての利用促進

3 感性豊かな子ども達の育成

6 地域文化の伝承

1. うるま市民芸術劇場

うるま市民芸術劇場は、響、燈の二つの専門ホールとリハーサル室を兼ね備えた、本格的な芸術ホールである。両ホールは平成24年度から26年度にかけて、劇場設備の機能強化事業を実施し、専門ホールとしての特性を強化している。

また、隣接する生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」との連携を図り、さらなる文化振興に取り組む。

うるま市文化協会と連携した地域文化活動の支援を実施するとともに、優れた舞台公演の招聘と舞台芸術の創造、鑑賞の場を提供することで、市民がより質の高い芸術に触れる機会を増やす。

2. うるま市石川会館

うるま市石川会館は、戦後沖縄の政治・経済・文化の発祥の地として知られている石川地域において地域住民の文化活動の拠点として平成元年に建設され、広く活用されてきている。

これまでの歴史的、伝統的に培われた地域文化活動の推進を図るとともに、コンサートやライブの開催などへの積極的な活用を促し、市民が音楽へ触れる機会を提供する。

3. うるま市きむたかホール

平成13年5月の開館以来「現代版組踊 肝高の阿麻和利」、学校、保育所関連の催し物を中心にホールが活用されている。

市内の中高生で演じられる「現代版組踊 肝高の阿麻和利」は、中高生の健全育成の場として注目を集めているが、うるま市の新たな観光資源へと発展させ、さらなる活用を図るべく、その情報発信拠点としてのホール活用を目指し、また、与勝地域の伝統芸能が地域の芸能文化活動の拠点とするほか、地域交流の場としても提供する。

首里城焼失に伴う県内観光振興のため、きむたかホールの音響・照明等の機能強化事業を実施した。

令和5年度 自主企画公演計画及び共催事業（予定）

	事業名	分野	開催月日・会場	内容
1	志の輔らくご	芸能 主催	4月2日(日) 市民芸術劇場・燈	落語公演
2	第46回沖展選抜展	芸術 共催	4月7日(金)～9日(日) ゆらてく	沖縄県内最大の美術・工芸公募展「沖展」から選抜した作品の展示会
3	子ども文化祭	芸能 共催	8月5日(土)～6日(日) 市民芸術劇場・響	市の児童生徒参加による舞台発表
4	市民総合文化祭 舞台の部	芸能 共催	9月24日(日) 市民芸術劇場・響	市民参加による各種舞台公演
5	市民総合文化祭 展示の部	芸術 共催	12月16日(土)～17日(日) ゆらてく	市民参加による作品展示会
6	新春芸能祭	芸能 共催	2月11日(日) 市民芸術劇場・響	新年を祝う市民参加による舞台公演
7	沖縄教育版画コンクール 特選作品展	芸術 共催	1月27日(土)～28日(日) ゆらてく	「第61回沖縄教育版画コンクール」特選作品展示会
8	ふるさと芸能デー	芸能 共催	11月～12月	市内自治体等による伝統芸能や演劇公演